第33号
昭和47年1月5日
発行＝小国町役場
印刷＝小千谷市位下印刷

# 広報おぐに

**小国町の人口**（前月比）

| | |
|---|---|
| 男 | 5,320人（−41） |
| 女 | 5,568人（−34） |
| 計 | 10,888人（−75） |
| 世帯数 | 2,471（−2） |

昭和46年12月30日現在

## 新しい年を迎えて

小国町長　佐藤勝栄

あけましておめでとうございます。

みなさん方にはおすこやかのうちに昭和四十七年の新春をお迎えのこと、心からお喜び申し上げます。

古人の語録に
**一日の計は朝にあり**
**一年の計は元旦にある。**
といっております。

これはどなたもご経験のあることと思いますが、新しい年を迎えると、今年こそはといろいろ思いをめぐらせ、ひとそれぞれに為すべき抱負を決意するものです。しかし一年が過ぎてみると、思っていたこと、計画したことが意の如くならぬというのが現実のようです。

とくに激しく変容する現在の社会にあっては、不測の事態が発生しやすく、朝の計も夕には陳腐化することさえあります。

だからといって物事にあたるとき、無計画であってもよいということではありません。変化の激しい社会にあればこそ、これに対応できる計画が要求されてくるのではないでしょうか。

情報化時代といわれている今日、私たちのまわりにはぼう大な情報が氾濫しています。この溢れる情報を的確に把握し、科学的に分析して予測されざる変容にも充分対応できる心がまえが必要かと思います。この心がまえをもとに柔歓性に富んだ弾力ある計画をたて、新しい年がみなさん方にとって悔いのない年になるよう願うものであります。

個々のくらしにとって生活設計が要求されると同じように町政にも計画が必要なことはいうまでもありません。

すでにご承知のとおり過疎化現象という今日的背景をもつ小国町にとって望ましいビジョンは、単に場あたり的な年ごとの計画のみでは、実現不可能であります。

地域の特性を考慮し、社会の推移と変容を充分見極めた長望展望のうえにたっての計画なくしては実現し得ないのであります。

このような観点から計画されたのが「小国町発展の長期構想」であります。

これは昭和六十年を目標として小国町の将来像を設定しました。昨年一年間にわたり、住民のみなさんからお寄せいただいたアンケート調査や座談会、研究会をもとに、議会の総合開発特別委員会の慎重な建設的ご審議を加え、一方ではコンサルタントにより専門的な振興診断を受けるなど、みなさん方の英知と多大なエネルギーを結集して取りまとめられたものであります。

この長期構想のなかでは小国町の将来あるべきすがたを、自然的、地理的、社会的にとらえ、総合的、広域的な角度から実現できるよう基本施策を計画いたしました。

内容の全ぼうについては広報その他パンフレットで詳細をお示しするよう目下準備中であります。

施策の大綱として

### ◉ 地域社会の基礎的条件の整備

小国町の自然的、地理的条件は冬期間の積雪現象でもわかるように決して恵まれてはいません。私が町政を担当させていただいて以来、今日まで冬期間の交通確保には全力を注いでまいりました。これがみなさんにお約束した無雪道路であり、この無雪道路の早期完成を基幹として本町と隣接都市を結ぶ主要県道の無雪化を進めることが地域の振興につながるものと確信いたします。

### ◉ 住民生活の安定向上及び人間形成

経済の伸長とともに生活様式は次第に都市化されつつあります。私たちのくらしの内容もますます多様化しています。これに伴い新しい問題、深刻な問題が発生していることは周知のとおりです。各種の公害、多発する交通災害、大量消費より生ずるゴミ処理等生活環境の破壊防止には、きめ細かな配慮が必要となりました。人間形成のための住民福祉増強は乳幼児からとしよりまで巾広く手厚くゆき渡らなければなりません。

なかでも、繁栄のかげに取り残されたといわれる老人福祉が社会問題になっています。年ごとに増加する高年齢層は小国町でも昭和六十年に総人口の一七％程度を占めると予想されます。これらの人たちが物心両面で保障され、明るく生きがいのある老後が送られるよう対策が必要であります。

### ◉ 産業の振興

小国町の産業構造は昭和四十五年調査時で第一次産業七五％、第二次産業八％第三次産業一七％と圧倒的に第一次産業、いわゆる農業が多いのであります。しかし本町の農業経営の内容は極めて貧しく、この経営の改善が最も大きな課題でありましょう。残念ながら国の農業政策も今のところこれといった抜本的対策がなく模さく中といわれております。

農業の本質を老えるとき農地の資産的な保有傾向が高まるとますます土地の流動化を硬直させることから経営規模拡大による経営改善をはかることは至難かと存じます。従って今後大、中型機械化による生産体系をうちたてるには、農協や民間生産者を中心とした組織化を図り、委託農業経営を確立しなければならぬ傾向をたどることは必然といわれます。これに対する技術面の指導体制や資金の導入助成には、各種系統機関と密接な連けいをとり万全を期するものであります。

このように考えを進めてくるとき、町勢の発展は一つの点を充実させるだけでなく、総合的な相互関連をもつ面を開発することにあり、それが住民の福祉向上へ伸長するものと確信されます。

幸い議会でも議長はじめ議員諸賢も住民福祉に直結する長期構想にはご理解を賜り、万全のご協力をいただいております。

しかしこの構想・計画を進めてゆくには何といってもみなさん方のご協力なくしては実行不可能であります。

みなさんが全員参画して描いた小国町のビジョンを、みなさんと共に着実に押し進め、みんなが幸せで住みよい小国町にしようではありませんか。

豊かな明るい家庭はなんといっても健康第一であります。

一家そろって健康には充分気を配り本年もみなさん一人一人に、よりよい年であるよう祈念して、年頭のあいさつといたします。

## 年頭のあいさつ

小国町議会議長　牧野功平

明けましておめでとうございます。

昭和四十七年の新春を迎えるにあたり、皆さまのご多幸を心から祈念するとともに、今年も皆さまと手をとりあって福祉増進に邁進したいと思います。

戦後今日までの日本経済の成長は昭和四十五年後半から急激に落ち込みをみせ昨年も依然として停滞の様相を示し、更に八月十五日ニクソン大統領の新経済政策発表によるドルと金の交換停止、十パーセントの輸入課徴金の実施によりまして、日本経済を根底から揺るがし、わが国の輸出は大打撃を受けることになり、十二月十八日発表による円切上げ、ドルの切下げによりまして、年間に十四、五億ドルの輸出減少の要因となるものと考えられます。

国と国との関係は、双方に利益があってはじめて友好関係を維持できるものでこれまでの日米関係は、双方に利益がありましたが、米国はアジア政策を進めるうえに、日本という安定した国が必要でありましたがその日本が頼りになる国になるほど、米国にとって有利であり、加工貿易で生きる日本にとって、米国はこのうえなく安定した相手であり輸出の三割までが米国向けでありました。

ところが、いまや事情が一変し、米国、中国の和解が実現すれば、アジア政策の拠点としての日本の位置は急激に低下し、強くなりすぎた日本の経済は、米国そのものを脅かす結果となり、米国にとってもうこれ以上日本が強くなる必要はなくなったのであります。

米国は、自国の安全保障の面から日本を少しも必要としないのでありまして、経済的にも孤立主義でも生きていけるが、日本は孤立主義では、経済の発展は望めなく、現状維持すらむずかしいのであります。

このような内外の経済情勢の先行不安は、国、地方を通ずる行政運営に重大なる影響を及ぼし、構造的に不安定かつ脆弱な地方財政に与える影響は極めて深刻なものがあり、自治体の果すべき役割はますます重大であると申さねばなりません。

とくに住民の生活環境に直結する仕事を負担する町村にとって、無雪道路・上水道・成人健康センターなど社会資本の整備充実・過疎対策の樹立実施・交通対策の確立・総合農政の展開など問題が山積しているのであります。

もとより、これらの諸問題は、いずれも国・県・町村を通ずる緊急課題であり政府各省においても、新道路整備五ケ年計画・水道整備計画など公共施設整備にかかる各種長期計画の策定や総合開発計画、広域市町村圏計画など、いろいろな施策計画の進展をはかっているところでありますが、それを具体的に実施し、地域住民の声を適切に把握して、錯綜する計画や要求を総合調整し、地域の実情に応じて計画的な町づくり、地域づくりを推進すべく、議会は重大な任務を負っているのであります。

この重大な任務を果してゆくためには、長期見通しにもとづく町村行政水準達成を可能ならしめる地方財源、特に町村税財源の充実確保が絶対条件であることはいうまでもありません。

私は年頭にあたり、社会環境が激しく変化する昭和四十七年代において、地域住民にとって真の幸福は何であるかを、あらためて考えるとともに、その実現に向って皆さまと手をとり合って邁進する決意を新たにするものであります。

年頭にあたり、所感の一端を申し述べごあいさつといたします。

○○○○

## 新春囲碁将棋大会

○○○○

愛好者による新春の集いを開催いたします。初心者も有段者もふるってご参加下さい。

**日時**　一月二十二日（土）　十時より
**場所**　中央公民館
**連絡申込み**　電　中里　二三一
　有　一一七―一四
**参加料**　百円
（昼食は当方で用意）

なお、参加人員の都合で組合わせその他は当日決定します。また囲碁についてはハンディつき勝負といたします。

教育委員会
碁囲将棋クラブ

## 今月（1月）の納税

| | |
|---|---|
| 固定資産税 | 第4期分 |
| 国保税 | 第10期分 |
| 保育料 | 1月分 |

---

## 昭和四十六年度総合募金の結果について

昨年十月一日から始まりました総合募金は、みなさまのあたたかい善意とご協力により、次表のとおりの集計結果となりました。ここにその結果を報告させていただくとともに、ご協力を賜りました各位に厚く感謝申し上げます。

昭和46年度部落別共同募金実績

| 部落名 | 世帯数 | 目標額 | 募金件数 | 募金額 | 達成率 |
|---|---|---|---|---|---|
| 山野田 | 71 | 14,200 | 64 | 11,848 | 83.44 |
| 大貝 | 35 | 7,000 | 33 | 5,920 | 84.57 |
| 三桶 | 78 | 15,600 | 73 | 14,920 | 95.64 |
| 苔野島 | 70 | 14,000 | 55 | 7,090 | 50.64 |
| 原 | 122 | 24,400 | 108 | 15,139 | 62.05 |
| 森光 | 71 | 14,200 | 67 | 13,400 | 94.37 |
| 小栗山 | 95 | 19,000 | 89 | 16,241 | 85.48 |
| 諏訪井 | 124 | 24 800 | 118 | 23.097 | 93.13 |
| 太郎丸 | 127 | 25,400 | 126 | 23,475 | 92.42 |
| 小国沢 | 47 | 9,400 | 45 | 8,900 | 94.68 |
| 上岩田 | 74 | 14,800 | 73 | 14,720 | 99.46 |
| 法末 | 97 | 19,400 | 90 | 17,130 | 88.30 |
| 檜沢 | 81 | 16,200 | 80 | 15,350 | 94.75 |
| 新町 | 126 | 25,200 | 94 | 16,800 | 66.67 |
| 相之原 | 100 | 20,000 | 88 | 16.093 | 80.47 |
| 二本柳 | 41 | 8,200 | 38 | 6,030 | 73.54 |
| 上谷内 | 22 | 4,400 | 22 | 4,400 | 100 |
| 法坂 | 120 | 24,000 | 118 | 23,010 | 95.88 |
| 桐沢 | 86 | 17,200 | 84 | 16,641 | 96.75 |
| 猿橋 | 45 | 9,000 | 44 | 8,144 | 90.49 |
| 金沢 | 13 | 2,600 | 12 | 2,350 | 90.38 |
| 箕輪 | 59 | 11,800 | 56 | 10,720 | 90.85 |
| 上村 | 27 | 5,400 | 25 | 4,850 | 89.81 |
| 下村 | 88 | 17,600 | 87 | 16,850 | 95.74 |
| 武石 | 129 | 25,800 | 126 | 24,390 | 94.53 |
| 押切 | 44 | 8,800 | 41 | 8,300 | 94.32 |
| 七日町 | 72 | 14,400 | 70 | 13,520 | 93.89 |
| 上栗 | 93 | 18,600 | 90 | 16,246 | 87.34 |
| 原小屋 | 72 | 14,400 | 70 | 14,150 | 98.26 |
| 千谷沢 | 73 | 14,600 | 71 | 13,285 | 90.99 |
| 鷺之島 | 93 | 18,600 | 92 | 18,300 | 98.38 |
| 八王子 | 102 | 20,400 | 81 | 14,940 | 73.24 |
| 芝之又 | 29 | 5,800 | 27 | 5,400 | 93,10 |
| 合計 | 2,526 | 505,200 | 2,357 | 441,649 | 87.42 |

## 保育所園児の募集

### しめ切は一月二十五日

昭和四十七年度小国町立若草、中央、やまなみ保育所の園児を次の要領で募集いたします。入所を希望される方は、所定の申込書により期日までにお申込みください。

記

### 一、若草保育所

常設　定員一二〇名

㈠募集予定人員　一二〇名
五才児　五五名
四才児　六五名
三才児　――名

㈡対象区域
法坂、桐沢、箕輪、上村下村、武石、押切、七日町、上栗、千谷沢、原小屋、鷺之島

### 二、やまなみ保育所

常設　定員八〇名

㈠募集予定人員　八〇名
五才児　名
四才児　名
三才児　名

㈡対象区域
山野田、大貝、三桶、苔野島、原、森光、小栗山諏訪井、太郎丸、小国沢上岩田、法末

### 三、中央保育所

へき地　定員四五名

㈠募集予定人員　四五名
五才児
四才児

㈡対象区域
檜沢、新町、相野原、二本柳、上谷内、猿橋、金沢

### 四、各保育所共通事項

㈠申込み方法
所定の用紙が部落区長さんと役場にありますので各欄とも該当事項を記入し、特に入所希望理由欄（保育に欠ける理由）は具体的にその理由を記し提出してください。
なお、現在入所している方も改めてお申込みください。

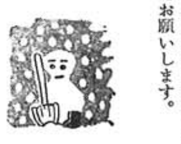
㈡申込期日
一月二十五日までに行政課福祉係あて申込んでください。

㈢入所の決定
申込みしめ切後、それぞれ検討の上協議し、二月中旬までに通知をさしあげます。
なお、三才児については申込み者数が定員未満で特に保育に欠けると認められるもののみとします

㈣保育料
保育料については毎年基準額が改訂され、さらに前年の所得や固定資税により、それぞれの階層が決定されます。
参考までに現在の保育料は一人一ヶ月当り、次のとおりです。
常設保育所は、（被保護世帯及び民税非課税世帯〇円）一、五五〇円、一、九五〇円、二、二〇〇円、三、八〇〇円、四、四六〇円の五階層です。
へき地保育所は階層別の段階はなく一律一、二〇〇円です。

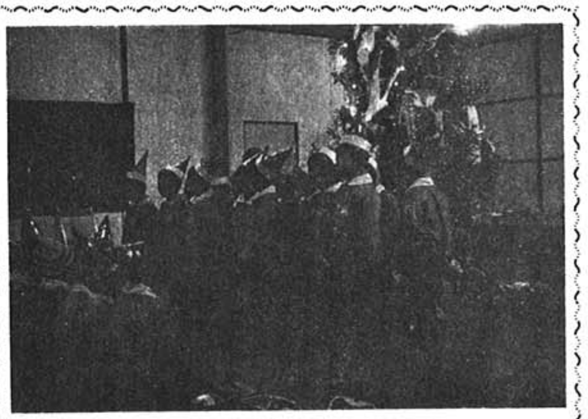
㈤五才児、四才児とは
五才児とは昭和四十一年四月二日～昭和四十二年四月一日までに出生したものをいい、四才児とは昭和四十二年四月二日～昭和四十三年四月一日までに出生したものをいいます。

㈥通園について
保育所での送迎はできませんので、通園方法については保護者の責任においてお願いいします。



## 楽しさがいっぱい

中央保育所



暮れもおしせまった二十三日、中央保育所で、クリスマスこども会が開かれました。

ことしはどんなサンタクロースがくるのだろうとそのおとずれを楽しみに、歌や合奏、あそびに心をはずませ、この日はお父さん、お母さんを前にして、〝ジングルベル〟や〝きよしこの夜〟などを歌い合奏し、サンタを待ちました。

サンタが大きな袋に、おみやげをいっぱいもってきて、一人一人にくばり、きれいな包みや大きな箱をもらったこどもたちはうれしそうでした。

小国町告示第十六号

## 町長の職務代理について

このたび小職は海外へ出張いたしますので昭和四十七年一月八日から昭和四十七年一月二十日まで、その職務は地方自治法（昭和二十二年法律第六七号）第一五二条第一項の規定により助役高橋正明が代理することになりました。

なお、その呼称は次のとおりです。

昭和四六年十二月二八日
小国町長　佐藤勝栄

呼称
小国町長職務代理者
小国町助役　髙橋正明

働きに出ていられる方への
たよりには、いつも
書いて送りましょう
交通事故のないように……と
そのときはこの広報紙も
同封して下さい。

## ビルマ墓参（戦跡巡拝）について

新潟県町村会副会長
小国町長　佐藤勝栄

大東亜戦争も既に四半世紀過去の史実となり、やがて私共の脳裡から忘れ去られようとしております。

しかし私は、この戦いに一兵士として参加し、いのちをかけて戦い、多くの戦友を失ったビルマの地は終生忘れられない因縁の地であります、西陸万里、炎熱蛮雨の地に終始寡少なる兵力と劣弱な装備をもちながらひたすら祖国の栄光と平和を念じながら或は砲煙弾雨の裡に斃れ、或は悪疾のために起つこと能はず、為すある身をもちて遠き異境に散った、ともびとたち……いくさの慣わしとはいえ、共に歩み共に語った友が、忽然として生と死とに永訣せねばならねばならぬ命運ほど果敢なくもまた悲痛なことはありません。春風秋雨、幾歳月が流れ去ると、私は悽愴苛烈、人の世の様とも思えぬ当時を追憶するごとに万感胸に迫り哀怨惜別の情禁じ得ぬものがあります。生あるうちに一度は現地で供養を営みたいと念じてまいりましたし、またご遺族の方々も、いつかはビルマ慰霊の旅を念じてまいりました。しかしビルマはその国情のため、入国が困難を極め、いつ宿願が達成せられるかと思っておりました。

時と共に情勢は好転し今次全国巡拝団の編成さるるところと相成り、選ばれて私は代表団の一員として一月九日東京発―バンコック―ラングーン―ニャンウー―マンダレー―ミイトキーナ―と戦跡を巡拝し一月十九日東京着の日程で参加させていただくことになりました。町政多端の折海外への行動は許し得ぬ事とは存じますが幸い議会のご理解も賜り参加に至った次第であります。

町民各位よりも事の次第をご理難賜ると共に、何卒今次州拝団の参加をお認めいただきますよう、お願い申し上げる次第であります。